

6. 見積用設計図書及び参考図面 構造 質疑書・回答書

質疑番号	区分	図面番号	質問	回答
1	構造	共-001	共-001では重要度係数I=1.5。地域係数Z=0.8と記載されていますが、基本設計説明書では地域係数Z=1.0、第2編模擬地震動作成報告書 重要度係数、地域係数ではZ=1.0、I=1.0にて模擬地震動を作成しているようですが、工学基盤での地震波形が正としてよろしいですか。	Z=0.8が正です。 地震動はZ=1.0で作成していますが、その0.8倍とお考え下さい。
2	構造	S-001	建設発生土の処理において、標準仕様書によると記載ありますが不明です。場外処分と考えて宜しいでしょうか。	建設発生土は場外処分としています。処分先については自由処分しておりますが、本院としても処分先を市内公共用地(南新地土地区画整理事業内)に処分できるよう検討しているところです。
3	構造	A-027	機械基礎において、研修棟機械基礎リストは全て既存躯体上部に設置するものとし既存躯体床面を目荒しの上、あと施工アンカーと考えて宜しいでしょうか。	研修棟 屋上の1か所については、左記のとおりで宜しいです。 研修棟 屋外 の基礎については、地上設置となります。
4	構造	S-025 S-052	基礎伏図X11/Y7通りに基礎F2Eの記載がありますが軸組図の寸法よりF2Bに読み替えて宜しいでしょうか。	F2Eとしてください。リスト中のD1は4650として、他はF2と同様です。
5	構造	S-025 S-058	スラブリストFCS1において、短辺方向の端部と中央で配筋が異なりますが伏図で端部と中央の範囲が判断できません。短辺方向は全てD25@100に読み替えて宜しいでしょうか。不可の場合は端部と中央の範囲図を御指示下さい。	宜しいです。
6	構造	S-058	柱リスト2階C1において、主筋径D32とありますが1.3階主筋径D29のため、2階もD29と読み替えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
7	構造	S-058	スラブリストS22において、短辺方向の端部と中央で配筋が異なりますが端部と中央の割付けが不明です。割付け図を御指示下さい。	端部中央ともにD13D16@200と読み替えてください。
8	構造	S-025 S-043	基礎伏図X14/Y3通りに基礎F1(設計GL-10100)の記載がありますがX14通り軸組図ではF1B(設計GL-11450)とくい違います。軸組図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
9	構造	A-040 ~041 S-025	基礎伏図において、通り芯から擁壁までの寸法がありません。実測W2700程度ですが断面図ではW2000及びW2100でくい違います。断面図を正と考えて宜しいでしょうか。	S-054を参照してください。
10	構造	S-002 S-003 S-052	基礎リストにおいて、上部H=400に高強度コンクリート適用と記載がありますが強度が不明です。FC60N SF60程度と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
11	構造	A-029 S-026 S-058	免震層平面図において、RI水槽機械室及び検査水槽機械室がありますが、構造図にありません。立上り壁W18を見込んで宜しいでしょうか。	宜しいです。
12	構造	S-063	免震上部基礎リストにおいて、ひび割れ補強筋の記載がありますが配筋要領が不明です。縦横D13@150と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
13	構造	S-033 S-056	4階床伏図において、G12Aの記載がありますが、不明です。大梁リスト4階G12における0付きを、G12Aと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
14	構造	S-029	B1階伏図において、X12-13/Y5-7間のスラブ符号が不明です。S3と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
15	構造	S-030 ~036	1~R階伏図において、小梁符号が不明な場所があります。下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・1~3階 X4-5間/Y1a通り…B3 ・1階 X14通り/Y4-7間…B1 ・2階 X9-11間/Y1a通り…B3 X11-12間/Y11+4500通り…B3 X3-4間/Y1-3間…B5 ・3階 X1-2間/Y5通り…CB1 ・4階 X2-3間/Y5-6間…B1 ・R階 X5-6間/Y10-1a間…B1	2階X11-X12間/Y11+4500通りはG1としてください。 その他は質問の通りで宜しいです。
16	構造	S-019 S-025	梁貫通孔補強要領図において、RC部梁貫通補強数量表がありますが場所が不明です。使用場所毎の個数を御指示下さい。また、ピット図に記載の人通孔も含まれていると考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	使用場所ごとの個数については実施設計にて算出します。 人通孔については含まれていると考えて宜しいです。

質疑番号	区分	図面番号	質問	回答
17	構造	S-063	免震材料基礎リストにおいて、積層ゴムの下部基礎に補強筋2-D19の記載がありますが弾性すべり支承に記載がありません。積層ゴム下部基礎のみに必要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
18	構造	S-037 ~052	基礎リストにおいて、梁段差増打部配筋要領の記載がありますが軸組図にありません。今回適用無しと考えて宜しいでしょうか。	例えばX1通りY3通りのように基礎梁に段差がつく部分に適用します。
19	構造	S-068 S-069	弾性すべり支承材SP50~SP80において、型番SKとSSR-H20の記載がありますがSKを適用すると考えて宜しいでしょうか。	いずれを選んでも問題ありません。
20	構造	S-071 A-036	屋上目隠し鉄骨詳細と6階平面図で目隠し基礎の箇所数が多い違います。平面図を正と考えて宜しいでしょうか。また、6階平面図では全て長方形の図示のため、b部詳細図は不要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
21	構造	S-030 S-062	PC梁リストPG12において、横幅が端部800、中央部600のため、ハンチが必要と思われませんが、1階床伏図上でハンチが見受けられません。ハンチ長を柱面から1000と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
22	構造	A-030 ~035	階段1.4.5.6について、配筋要領が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・段部・踊り場厚さ…t=150 ・昇降方向下筋…D10 @200 ・稲妻筋…D10 @200 ・段鼻筋…1-D13 ・段押え筋…1-D13	鉄骨階段となります。
23	構造	A-030 ~035	上記において、中壁が見受けられますが構造図に図示がありません。RC壁(W18)とし、最上階はH=1100程の腰壁と考えて宜しいでしょうか。	上記回答より中壁はなしとなります。
24	構造	S-024	杭の本数について、杭伏図と杭リストで下記のように違います。杭伏図の本数を正と考えて宜しいでしょうか。 ・P1…杭伏図:20本、杭リスト:19本 ・P4…杭伏図:13本、杭リスト:17本 ・P4A…杭伏図:17本、杭リスト:13本	宜しいです。
25	構造	S-070	鉄骨階段詳細図において、鉄骨間柱等がありますが、配置、アンカーボルト、ベース下均しモルタル等階段詳細が不明です。階段詳細を御指示下さい。	鉄骨階段詳細図を元に、実施設計図で明記します。
26	構造	S-002 S-042	建築工事特記仕様書(構造)-2、6章コンクリート16.止水板において、止水板はブチルゴム系200*6ですが、矩計図01ではH300と記載があります。ブチルゴム系200*6を適用すると考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
27	構造	A-027	機械基礎(屋内、屋外、外構部分)において、モルタルは電気、機械工事とありますが、アンカーボルト(材料、埋込手間共)も電気、機械工事と考えて宜しいでしょうか。建築工事の場合、アンカーボルト、ベース下均しモルタルサイズ、設置範囲を御指示下さい。	宜しいです。
28	構造	A-042 S-001	建築工事特記仕様書(構造)-1において、土間下防湿層の範囲は意匠図によると記載がありますが、矩形図等に図示がありません。免震ピット土間下に防湿層は不要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
29	構造	S-060	PC梁において、各階での緊張する順序がございましたらご指示下さい。	構造体に影響を及ぼさない限り順序は問いません。
30	構造	BS-03	伏図及び軸組図において、壁W18の記載がありますがリストが不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・壁厚…W=180 ・配筋…縦横D10@200ダブル ・補強筋…2-D13	配筋は縦横D13@200ダブルとしてください。
31	構造	BS-03	基礎伏図において、配管ピットは捨てコンとありますが捨てコンt=50+碎石t=60と考えて宜しいでしょうか。また、天端レベルは基礎梁下端と同じとしSL-2200と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	宜しいです。 捨てコン天端レベルは基礎梁下端レベルと同じとしてください。
32	構造	BS-03	基礎伏図において、FS21の記載がありますが天端レベルが不明です。SL-2050と考えて宜しいでしょうか。	FS21の天端レベルは1FL-1950としてください。

質疑番号	区分	図面番号	質 問	回 答
33	構造	BS-03	A-A矢視図において、鉄骨梁受増打ちの記載がありますが配筋が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・縦筋…2-D13 ・横筋…D10@100	S-013 配筋規準図-4 柱梁の打増し補強配筋に従ってください。
34	構造	BS-03	A3通り/Ba2～Ba3通り間の地中梁に開口の記載がありますが補強要領が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・縦補強筋…3-D16 ・横補強筋…3-D16	宜しいです。
35	構造	GA-1 GS-1	キャピ-4の柱について、外構図と構造図において、柱の本数・高さが、下記の通り食い違っております。どちらを正と考えれば宜しいでしょうか。 外構図:6本 H=2500 構造図:8本 H=4000	柱8本、H2500としてください。
36	構造	GS-02 GS-04	キャピ-2基礎伏図において、A11～A14/Bc1～Bc2通り間に基礎梁FG12の記載がありますがリストが不明です。FG11に読み替えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
37	構造	GS-01 ～04	キャピ-1及び4基礎伏図において、基礎下地盤改良に記載がありませんが軸組図では図示があり違いがあります。キャピ-2及び3同様に地盤改良を見込んで宜しいでしょうか。	宜しいです。
38	構造	CA-015	外壁ALC下部にRC立上り壁が必要かと思われませんが構造詳細が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・壁厚…W=150 ・配筋…縦横D10@200ダブル配筋 端部筋:2-D13 ・コンクリート強度…FC24N S18 ・既存躯体面との接合部…目荒しの上あと施工アンカー D13@200シングル 差し筋共	壁厚180、高さFL+500とし、その他仕様は左記のとおりとしてください。